昭和60年
1月1日
第228号
発行 津奈木町役場
編集 企画課
印刷 水俣旭印刷所

町報 つなぎ

人口と世帯
（12月1日現在）
人口 6,203（－2）
男 2,965（0）
女 3,238（－3）
世帯 1,716（－3）
（ ）内は前月との比較

昭和六十年 元旦
（朝ぼらけ・大泊漁港）

津奈木のヒノキ

町長 六車孝吉

地球上には凡そ、五千万平方粁の森林があって、全陸地の約三十四%を占めており、人類に与える恩恵は計り知れないものがある。紙と木の文化と評された日本人は、昔から木と深いかかわりを持って暮してきた。日本人は世界で一番木の好きな民族で、木を使う技術にかけては世界一流と言われる。我が国で建築用材と言えば先づスギとヒノキである。中でも一番よく使われるのはスギであって生産量も多い。然し建築用材として筆頭にくるのはヒノキである。

日本放送協会刊「法隆寺を支えた木」の中で、著者の一人であり且つ、宮大工である西岡常一氏は「道具や技法がどんなに進んでも、木造建築では、ヒノキが他のどんな材よりもすぐれている、ということがわかりました。ヒノキが使われていたおかげで法隆寺は、世界最古の木造建築として千三百年を生きぬいて、なほ、丈夫に立っているのです」と書いている。津奈木町で植えられているヒノキはサクラヒと呼ばれ、心材が紅色を帯びて一名アブラヒとも呼ばれている。一般に木曾檜は心材が淡白で、材質が特に優れていると言われるが、脂質が少く艶に欠け材が柔かい。サクラヒは材質が劣ると言われていたが私はそうは思わない。心材は赤味を帯びて美しく、つややかな光沢を持ち強度もすぐれている。

何れも夫々特長があって優劣をつけ難い。木曾や吉野、或は尾鷲地方と違って生産量が少なかったため、その真価を問われる機会に恵まれなかったのではなかろうか。ヒノキの枯枝は腐れ難く、死節をつくる最大の要因となっている。そのため津奈木では、枝が大きくならない様に密植して良材を造る手段とした。現在では積極的に枝打を励行して死節を少くし、スギ以上に除間伐を行って、大径優良材を造る時代である。木曾や高知県奥白髪岳の様に二百年から八百年の高令林は望めないが、生育のいい津奈木では四十年から六十年程度の樹齢で、二丁どりできる無節の心持材を生産すべきであると思う。

又皆伐時に曾っての「立て松」の様に、一部優良木を残すこともいい方法ではなかろうか。津奈木に現存するヒノキで胸高直径最大のものは、私の知る限りでは六十糎である。

年頭あいさつ

議長 福田正任

輝しい新春を迎えるにあたり、町議会を代表して町民の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は打ち続く不況により町民の生活は極度の圧迫を受け、地方財政の危機的様相が更に深刻の一途をたどるなかで暮れました。

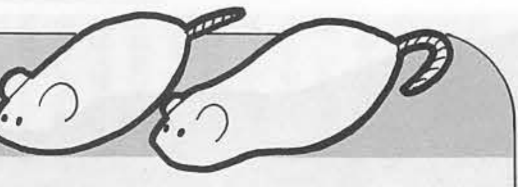
今年こそは、このような状態から一時も早く脱却するよう町民皆様とともに力を合せて努力していきたいと思います。

町議会といたしましても、明るく住みよい、働きやすい環境づくりに、出来るだけの努力をいたしたいものと決意を新たにするものであります。

どうか本年も、より一層の御支援、御協力をお願い申し上げ、昭和六十年が町民の皆様にとりましても幸せな年でありますようお祈り申し上げまして新年のご挨拶と致します。

ふるさとのおみやげに
「漁協婦人部"グチのみりん干し"を御指名下さい」
"手づくりの自然食品です"
御注文は
正月の1日～3日まで 長浜重保☎3338
4日から 津奈木漁協☎2015
大泊支所☎2305
小津奈木の"山うどん店"でも直売中
みりん干し一袋400円です
津奈木町漁協より

元気に育て ねずみ年 生まれの仲間



S 58. 12. 12 ～ 59. 12. 26 届出迄

部落	出生児	保護者	続柄	生年月日
浜崎	宮本 秀俊	清也	二男	S 58. 12. 12
町中	松本 淳平	義郎	長男	12. 17
桜戸	本田 秀美	安武	二女	12. 20
染竹	新立 博	記良	三男	12. 14
日当	吉野 里佳	勝	二女	12. 28
川内	下川麻紀子	文雄	二女	59. 1. 2
日当	松田 和	芳守	二男	1. 9
〃	田嶋 七恵	伸浩	長女	1. 17
古中尾	山本 北斗	和美	長男	1. 17
大泊	真野 晋子	雅晴	長女	1. 21
日当	岩崎 明宏	龍一	二男	2. 9
桜戸	斉藤 美佳	伸也	二女	2. 4
川内	下川 敬介	和生	長男	2. 7
日当	伊藤 貴紀	博信	長男	2. 10
福浦	長濱 佑宜	勝司	長男	2. 14
平国下	長濱 愛美	広勝	長女	3. 21
染竹	松永雄一郎	栄一	二男	3. 22
辻	森本 春菜	茂	二女	3. 20
小津奈木	江口 克志	伸廣	長男	3. 25
浜崎	大園 剛	哲郎	長男	S 59. 4. 13
〃	渊上 大地	澄男	二男	4. 13
日添	吉野早奈美	強	長女	5. 4
川内	宮崎 崇	豊範	長男	5. 14
福浦	福山 政志	鉄雄	二男	5. 28
浜崎	磯見麻希子	勲	二女	5. 26
大泊	柳迫 優弘	満憲	二男	6. 6
平国上	野崎 珠美	憲章	二女	6. 11
中尾	渊本 孝太	義廣	長男	7. 5
上下門	野崎あゆみ	秀則	長女	7. 11
中尾	村田 正幸	鐵男	長男	7. 17
日添	宮嶋 晃司	弘行	長男	7. 29
大泊	新立 敏典	広	二男	8. 5
古中尾	古本 陽子	英二	長女	8. 7
平国下	長濱 千帆	生幸	長女	8. 16
上下門	竹田 裕紀	慎一	長男	9. 20
小津奈木	岡本 愛	一孝	長女	9. 8
〃	山本ちあき	良一	長女	9. 8
日当	林田翔太郎	昭二	長男	8. 27
平国下	千々岩磯六	長美	長男	S 59. 8. 24
竹中	日野 衣子	昇	二女	9. 20
日当	平田 慎一	米男	長男	9. 20
川内	井川千恵美	清治	長女	10. 7
浜崎	松ケ野尚志	尚秀	長男	10. 9
竹中	松上 裕太	敏夫	二男	11. 1
平国下	村上 浩章	末満	二男	11. 1
倉谷	森下 美香	博明	長女	11. 4
平国下	濱田 優歌	隆満	二女	11. 10
小津奈木	折木 翔	功	二男	11. 9
平国上	長濱 有紀	満則	二女	11. 10
平国下	鬼塚 幸知	賢造	長男	11. 7
大泊	新立 慶蔵	文範	三男	11. 12
〃	柳迫 大輔	健治	長男	11. 23
〃	新立 誠	伸哉	二男	12. 2
〃	新立 範子	伸一郎	長女	11. 30
平国下	濱田 隆則	義一	長男	12. 5

あたたかい募金をありがとう

町民各位のご理解とご協力によりまして、本年度も目標額に近い歳末助けあい募金をいただきまして、厚くお礼申しあげます。早速町内のねたきり者や県下の病院、各種施設を訪問しお見舞申しあげました。

なお、昨年のお礼の手紙の中から一例を紹介します。

○**見舞金どうもありがとうございました。**皆様からいただいた見舞金は、洋服などに使わせていただきます。

今日までこうして無事に生活してこれたのも皆様のおかげではないかと思います。

これから先、寒い日が続きますが、お体に気をつけて楽しい日を過ごして下さい。（原文）

（水俣市）光明童園
中学二年 川内康成

歳末助けあい募金収支報告書

収入

区分	金額	摘要
一般募金	659,084円	表のとおり
社協繰出金	90,916	社協より
計	750,000	

支出

区分	金額	摘要
配分金	750,000	1人3,000円×250人
計	750,000	

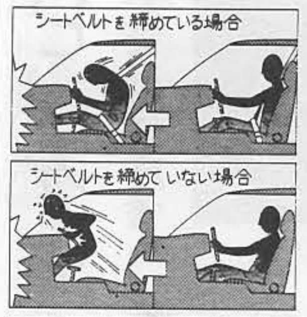
歳末助けあい募金

区分	金額	区分	金額
竹中	19,100円	小津奈木	24,700円
染竹	25,000	辻	3,071
浜崎	32,350	小計	
桜戸	25,500	津奈木小	7,205
町中	16,210	赤崎小	4,452
新川	24,000	平国小	5,171
古川	24,100	津奈木中	3,000
大泊	38,900	津南保育園	44,003
中尾	22,400	津奈木郵便局	10,000
古中尾	18,200	㈱住物冷凍	5,000
倉谷	21,300	住物冷凍職員	3,710
内野	16,400	医師会婦人部	20,000
上下門	16,500	熊本中金津奈木支店	4,500
川内	11,050	役場	43,160
福浦	19,500	森下育美	1,002
平国上	20,800	富美男	
平国下	35,500	議員一同	15,000
日当	38,400	小計	166,203
日添	40,000	合計	659,084

シートベルト推進決議

十二月定例議会において、町民と一体となって、シートベルト着用運動を強力に展開するという趣旨のもとに、「シートベルト着用推進の決議」が議員提案され、満場一致で決議されました。

また、各部落各班ごとに、安全協会の評議員、安全運転管理者を交通安全推進員に委嘱し、交通安全運動を推進、事故のない明るい町づくりを目ざしたいと思いますので町民皆さんの御協力を！


シートベルトを締めている場合
シートベルトを締めていない場合

▲漁協婦人部水産加工場にて（平国12/17）

衛生係より

三種・二種混合 予防接種

昭和五十九年度三種混合（百日咳・ジフテリア・破傷風）の予防接種を次のとおり実施します。

一、実施日及び場所
一月十八日（改善センター）

二、実施時間
午後一時三十分から午後三時まで。

三、対象児
昭和五十六年一月一日から昭和五十七年十二月三十一日までの出生児

※母子健康手帳を御持参下さい。

交通安全

＝指令第一号＝

昭和六十年一月は、飲酒運転追放を最重点に指導されたい。

昭和五十九年十一月中、水俣警察署管内において飲酒運転で検挙された者は六十二名となっております。この内に本町の三名があります。飲酒の場所は自宅二十三、友人知人宅十、親戚宅五で計三十八（六十一%）、飲食店やバー、スタンド等は計十四（二十三%）となっており、一番心配しなければならない、家族や友人、親戚の方が、飲んだら乗るな、乗るなら飲むなを徹底して守っておれば検挙されることもなかったと思います。飲酒の動機については、晩酌が十六、つきあいが二十五、計四十一（六十六%）となっています。二月は又飲酒重点取締月となります。不名誉な飲酒運転でつかまる様なことのないよう、全町あげて今月を飲酒運転追放の月と致しましょう。

交通安全推進員の皆様は、本指令にもとづいて強力に呼びかけ指導を行ってください。

休日在宅医テレホンサービス

水俣市芦北郡医師会では … 日曜、祝祭日時に病院にかかりたい場合、電話により休日の当番医を知らせるテレホンサービスを実施しています。

電話は、09666(3)4139です。

成人式 案内

昭和六十年の成人式を次のとおり開催します。

一、日時 昭和六十年一月三日（火曜）午前九時三十分受付、十時開式

二、会場 津奈木町農業就業改善センター

三、対象者 昭和三十九年四月二日から四十年四月一日までに生れた人

四、その他 記念写真代五百円を持参の上、普段着で参加して下さい。

なお、該当の人で成人式の案内状がもれている方がおられましたら、当日会場にご遠慮なくおいでください。

詳しいことは、津奈木町教育委員会（電話三一一一）まで、お問い合せ下さい。

産業祭 2月9日、10日

自慢の品物があればぜひ御出品下さい。

○農業部門
○林業部門
○水産部門
○商工部門
○郷土文化部門

この外多彩な催しが行なわれます。

募集します

保育園

昭和六十年度保育園児の募集を次のとおり行います。

一、募集人員
津奈木保育園 九十名
津南保育園 九十名

二、保育所の入園基準
保育所は保育に欠ける児童を入園させる施設であるため、保護者がその家庭においてその監護すべき児童の保護養育ができない状態の児童を基準に照らして入園決定する。

三、入園資格
〇才（八ケ月）児以上で、津奈木町に住所を有する者

四、申込受付期間
昭和六十年一月十日～一月二十四日まで

五、手続方法
入園申請書に諸事項を記入し地区担当民生委員、又は各保育園へ提出して下さい。

六、その他
申請用紙は地区担当民生委員宅、各保育園、及び役場福祉係にあります。地区担当民生委員は、次の通りです。

（氏名）	（担当地区）
福田 信順	竹中、染竹
成田チエ子	浜崎、桜戸
沢田フミ子	町中
竹本カチ子	新川、古川
西 滋子	大泊
谷口 輝子	中尾
平松 昭子	古中尾、倉谷
川上 安喜	内野、上下門、川内
福山チエ子	福浦、合串
平野 シエ	平国上、辻、平国下
森山 勝喜	日当
佐々木セツ子	日添
山内キミエ	小津奈木

自衛官

一、区分
二等陸、海、空、士

二、資格
十八才～二十五才未満
（六十年三月高校卒業生含む）

三、身分
国家公務員（特別職）

四、給与
入隊時 一〇一四〇〇円
（十ケ月後一一〇五〇〇円）
ボーナス 年三回

お問い合せは
役場総務課 TEL三一一一
水俣募集事務所
〇九六六－三－五八六三

ご寄附お礼

○肥後銀行水俣支店より町美術品取得基金として金一封
○新川 浜本繁己さんより役場退職記念として町美術品取得基金に金一封
○中尾 斉藤卓也さんより町美術品取得基金として金一封
○町中 松本二郎さんより町美術品取得基金として金一封
○津奈木町商工会婦人部より金一封

をそれぞれご寄附頂きました。心より御礼申し上げます。

重盤岩の日の丸

中尾部落出身の犬童十八美（宮地警察署勤務）さんより、日の丸二旗寄贈頂きました。記名の上掲揚させて頂きます。

幼稚園

昭和六十年度津奈木幼稚園の園児を次のように募集します。

記

一、募集人員
四才児
自五十五年四月二日 至五十六年四月一日 出生児 四〇名
・五才児
自五十四年四月二日 至五十五年四月一日 出生児 五二名

二、入園資格
昭和六十年四月一日現在、満四才児および五才児で、津奈木町に住所を有する者。

三、提出書類
入園申請書 一部（用紙は教育委員会にあります）

四、申し込み期間
昭和六十年一月十日から同年一月二十四日まで。
ただし、期間中定員に達したときは、期間中でも締め切ることがあります。

五、申し込み先
津奈木町教育委員会

六、入園の許可
入園の許可は、選考（身体検査を含む）を行い、昭和六十年三月十五日までに通知します。

七、その他
現に四才児として入園している園児は、入園申し込みの必要はありません。（これらの園児は五才児の組に進級します）

水俣高校 定時制

水俣高校定時制では、次のとおり生徒を募集します。

募集人員 商業科四十名、衛生看護科四十名
願書受付期間 二月八日～十五日正午まで
水俣高校事務室へ提出してください。
（願書は、同事務室・各中学校にあります）
学力検査 三月十二日・十三日
合格者発表 三月二十日
その他 定時制生徒には、いろいろ優遇措置があります。

なお、不明な点は水俣高校定時制係までお問い合せください。
（電09666(3)1261）

※定員に満たない場合は、二次募集を実施します（商業科のみ）

ご芳志お礼

部落	世帯主	故人
日当	岩崎 政雄	新蔵
〃	上村 義晴	由信
〃	伊藤 豊	ハツエ
平国下	浜田 続	嘉市
町中	松本 二郎	金義

右のかたがたから町社会福祉協議会へ香典返しとして金一封をご寄付くださいました。この寄付金はご意志に添い有効に利用させていただきますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。

（敬称略）

訂正とおわび

町報「つなぎ」十二月号「ご芳志お礼」の中で、新川 浜本純男様の故人庄三郎様を孝助様に訂正し、おわび申しあげます。

新しい計画・・・・・「活力」「個性」「潤い」のある
〔心の通う住みたくなる町づくり〕をめざして

五ケ年計画　町過疎地域振興計画を策定

去る、十二月十八日の定例町議会に於いて、過疎振興関係法による昭和六十年度から、五ケ年の津奈木町過疎地域振興計画を定めた。

この計画は町振興計画及び水俣芦北地域振興計画に関連する過疎関係の具体的な計画を示すもので十億円に上る年次計画を立てている。

過疎地域振興の基本方針（要旨）

本町には新規雇用のできる事業所は殆んどなく、若年層の流出が目立つ。人口減少の鎮静化にもかかわらず高齢化を招いている。

このため、過疎解消に向け、従来から求めている工場誘致の実現と、豊富な第一次産物の付加価値を高める。

更に新たな産業、産物を創出する産業祭等のイベントの開催や集落毎のデザインづくりを通じて特色ある地域づくりを推進する。

基本的対応策としては、高速道路建設早期実現を含めた国県町の産業基幹道路、貯水ダム建設による生活用水及び産業振興など、総合的に生活環境の整備促進を図る。

特に、本町に活力を与える若年層の就業の場の確保と、本町の秘めた可能性を最大限に創出することに努め、県政の基本テーマ「活力」「個性」「潤い」と本町スローガン「心の通う住みたくなる町づくり」を実現する。

◎心の通う人づくり
○社会教育施設の充実（図書館音楽堂、研修室）
○学校教育施設の充実
○海洋性リクリェーションの基地の建設（ヨットハーバー・宿泊施設）

◎水資源の確保
○ダム建設促進

◎企業誘致
○工業団地造成

◎交通ネットワークの整備
○南九州西廻り高速自動車道・新幹線建設・国道三号線二車線道の実現を要望する。
○県道岩城・湯浦線バイパス道（浜及び赤崎）の実現
○基幹町道の改良整備（津奈木村線等）

◎住みたくなる町づくり
○緑と彫刻のある町づくり
○公営住宅の建設
○地域福祉の推進（社会福祉施設の整備・住民検診・保健センター）

◎活力ある産業の振興
○農業～広域農道の整備・農村基盤整備の促進・集約高所得経営の確立
○林業～広域林道及び林道網の整備・森林総合整備事業の推進
○水産業～国営不知火海開発研究センター誘致・栽培漁業の振興・漁港の整備・水産物の加工
○商工業～既存企業の育成・特産品づくり

メロン苗
ハウスメロン
▲共同作業で和気あいあい、心もフトコロもあったたかーい年でした。春苗もスクスク育っています。(12/17小津奈木野菜育苗センターにて)

県道改修・公有水面(海)埋立含む　大型プロジェクトのスタート
浜バイパス・ブロンズ橋夏完成
赤崎バイパスも調査設計へ

海岸地域を結ぶ基幹の県道は浜地区と赤崎地区で、大型トラックの運行が難かしい現状にある。

浜バイパスは昭和五十九年～六十二年までに、総工費約四億円をかけて、干拓地から古川河口附近まで、三七一メートルを二つの橋で結ぶ。

更に、この計画に附帯して、約二億円の海岸埋立て工事が行なわれる。

赤崎バイパスは現在、まだ具体的ではないが昭和五十九年度から約十年間に、概ね、一〇～二〇億円をかけて、県道と漁港改修を含めた計画がスタートされる見通しになってきた。

これらの工事概要は次のとおり

◎県道浜バイパス計画

県道浜バイパス計画は、狭く、カーブの多い浜地区を通る県道を干拓地↔塩田↔古川（河口附近）に新設するもの。

干拓地↔塩田を渡す、第一岩城橋は昨年十月九日、起工式して基礎部分を工事中で、七月頃には完成する予定である。

この橋では、もう一つ、中央附近のブロンズ像も注目されている。

第二橋は海岸埋立後着工の予定。埋立工事は船泊━古川河口まで堤防四〇〇メートルで結び、用地、一・五ヘクタールを造成する。この用地は、第二橋の延長を短かくすることと、県道拡巾などに$\frac{1}{3}$、住宅地に$\frac{2}{3}$の利用計画がある。

赤崎バイパス計画では、漁港修築工事によって、新漁港をつくり現在の土砂が留って手狭な漁港を埋立てて、そこにバイパス道と住宅地を造成しようという大型のプロジェクト計画である。

○第一岩城橋（干拓↔新川）
架橋工事費　一億三五〇〇万円（全額県費）
工事内容　橋長五十四メートル　橋巾十メートル
完成予定　S六十年七月頃

○ブロンズ像設置計画
事業費　八〇〇万円（県$\frac{1}{2}$補助）
設置時期　第一橋完成時

○公有水面埋立計画（船泊～古川）
総事業費　二億円
事業内容　堤防工事、四〇〇メートル、造成面積　一・五ヘクタール
工事年度　S六十～六十一年度

○第二橋（仮称、古川↔塩田）
架橋工事費　八千万円（全額県費）
工事内容　橋長三〇メートル、橋巾十メートル
工事年度　S六十二年度頃

○陸地（塩田内など）道路
工事費　一億六六〇〇万円
工事内容　陸路延長二九〇メートル
工事年度　S六十～六十二年度（予定）

◎赤崎バイパス計画（案）
S五十九～六十年度　調査設計
S六十一年度～　漁港改修　修築工事

▶写真　右(干拓)～左(古川)の対岸を結ぶ二つの橋と海岸埋立造成を含む県道バイパス計画

平国小体育館（まもなく）完成
今年度赤崎小に新築

昨年八月四日の起工式から五ケ月、工事現場では白塗りの外装を終え、順調に進められている。

場所は現在の本校舎南側の一段高台の眺めのよい所である。

工事概要は、総工費一億円、総床面積八〇三平方メートル（津奈木小体育館と同じ）、完成予定二月十日となっている。

尚、六十年度は赤崎小学校に平国と同規模の体育館が新築される予定である。

▲平国小学校の元気者たち「体育館ありがとう、ことしもガンバリまーす」

一月の行事

三日　成人式　改善センター
四日　役場御用始め
六日　親子たこあげ大会　場所　干拓堤防　時間　十時より
十三日　三太郎駅伝大会　田浦→水俣
十八日　三種・二種混合予防接種　改善センター

60年間の役所・旧役場は商工会・図書館 森林組合・武道館に

役場庁舎の移転にともない旧庁舎には、5月商工会が2階の町長室等とその下建設課に。隣接の農林水産課部分が図書館になった。

9月には森林組合が、役場前の2階建ての会議室、車庫を改造して、事務所を移した。

更に9月末には本館を床張りして、武道館が出来、小・中学生に利用されている。

昨年のビッグニュース
干拓地に移転した役場庁舎

▲昭和58年6月13日着工、59年3月15日完成、4月19日落成式の役場新庁舎

2635012

昨年の町内十大ニュース

一、役場庁舎移転建設、町制二十周年記念事業（四月十九日）
二、県道浜バイパス計画の着工（十月九日）
三、森林総合整備事業のスタート（五月）
四、染竹地区簡易水道の完成（十月十五日）
五、農村定住化促進事業　川内地区のほ場整備（十月九日）
六、漁協婦人部水産加工場建設（七月二十六日）
七、ボランティアによる干拓千本桜植付け（一月二十九日）
八、平国小学校体育館着工（八月四日）
九、五十八年産甘夏価格の暴落　ハウス野菜定着（年二作）
十、第一回夏まつり（八月十四日）

〝もちつき〟つなぎほいくえん、12月7日

農業情報
みかん貯蔵庫で　マッシュルーム（きのこ）試作

昨年八月中旬、干拓地に生えるヨシ切りから始まったマッシュルーム試作。今、みかん選果場の貯蔵庫に、高く積まれたコンテナの床で、まっ白い頭を出している。

この、きのこ、堆肥づくりが大変のようだ。まず赤土に、ワラ、ヨシ、カヤや馬糞、肥料等を切り込み、五日毎に五回返し、発酵させて、種菌、土のせをして六十日目頃から生える。その後は約三ケ月間収穫ができるそうだ。

「経費は人件費が主、床作りさえできれば、あとは軽労働、損する理由がない」とは農協関係者の説明。しかるに値段は市場で一パック（八〇～一〇〇グラム）一一〇円～一六〇円、最盛期には三三〇平方メートル（一〇〇坪）で三百パックは出荷できると見込んでいる。

農協では近く農家にも普及してゆきたいとしている。

マッシュルーム料理十種

一、シチュー
二、バターいため
三、ホワイトソースあえ
四、カレーライス
五、サラダ
六、炊き込み御飯
七、スパゲティー
八、野菜いため
九、茶腕蒸し
十、グラタン

早生甘夏一万円のスタート
温州みかん、異常高値続く

去る、十二月十日～十二日に、四十トンを出荷した早生種の甘夏みかんが近年にない高値で取引きされた。

出荷先は新宿市場と宮巣市場（仙台市）等で高値で一万円（キロ当り六六六円）平均値も、四千五百円（キロ当り三〇〇円）と甘夏人気を回復するスタートをきった。

五十九年産の早生甘夏、津奈木は百五十トンの出荷予想である。また、十二月二十日からサンフルーツも出荷される。

尚、五十九年度の温州みかん類は、キロ当り手取りが、極早生みかん約二百円、早生温州百～百五十円の実績。出荷が続いている普通温州も百五十円を関係者はみている。

キウイフルーツの初出荷

◀12／17第三選果場にて

五十九年産のキウイ共販は約七トン、採収後、直ぐ貯蔵庫へ入れ、本格的な販売は二～三月である。

十二月十七日、市場からの要請で、百ケース（三・六キログラム入）を初出荷した。予想では二〇〇〇円（一個当り六〇円）。

尚、昨年の実績では、手取りで一個当り約五〇円だった。

中国を訪ねて(2)
役場職員　林田三洋

杭州で三日間ゆっくり骨休みをした後、最後の訪問都市〝北京〟へと向う（九月二十九日）

美人スチュワーデスの案内で北京空港着、十五時三十分。

北京は中国の首都だけに、近代的ビルがひしめき合っている。あらゆる建物に立つ、赤い旗、赤い星、いたる所に植えられた赤いサルビアが「レッド・チャイナ」のイメージを呼び起こす。やはり北京は政治、軍事の中心都市なのである。

北京の人々は、上海、杭州の人とは人種が違うのだろうか肌の色が黒い人が多い。それに上海などで見かけたファッショナブルな服も少なく、人民服が主流のようだ。

この日、人民大会堂で行なわれるパーティに出席するため、天安門広場へと向う。この天安門広場は世界最大の広さをもち、約四十万平方メートルの地に百万人の集会ができるという。広場では朝方からマラソンをする人、太極拳をする市民が集まってくる。人民大会堂は広場の西側にあり、全国人民代表大会が開かれる所で、日本の国会議事堂にあたる。もっとも機能はいささか異なるけれど…。

各コースを回って来た三千人が集合し、大会堂でのパーティは始まる。中野良子をはじめ日本の芸能人も多数参加したこのパーティ、日本人のやじ馬が芸能人を取り囲む様を見ていると、この人達は何をしに中国に来たのだろうか、という疑問が先にたつ。広さ一二〇×一二〇メートルの会場に広げられた料理は、ペキンダッグ、小豚の丸焼き、等、二十数品、「これが中国のフルコースか」と思いつつ、少々中華料理にうんざりしたのか、ビールのつまみは中国青年との世間話となる。

北京に住む周氏は農業の機械化導入に取り組む二十八歳の青年、彼の話によると、「中国では各地に普及推進ステーションがあり五名位の普及員がいるものの、技術と機械が不足している。かといって無造作に機械を導入することにより、人手が余る恐れが十分にあり、農業の機械化にもかなりの問題がある」とのこと、中国にはこうした農業に真剣に取り組む青年が多く、現在日本に遅れはとっているものの、広大な耕地を前に日本に追い付き、追い越すのは時間の問題だという気がする。

▲杭州での見送り
杭州の水と女性は中国一とか！

パーティが終りホテルへと向う途中、友宜商店（デパート）にたちよる。友達が女店員に全く日本語が通じない様で困っていると、その女店員に「キャン・ユー・スピーク・イングリッシュ」（英語を話せますか）と尋ねられ、「イエス」と答えたものの、堪能な英語を前に、目を丸くして頭をかきながらあとすざりしていた。やはり英語は国際語なのである。

ペキンダックを中心に、中国料理のフルコース

九月三十日、首都体育館にて歓迎大会が催される。胡耀邦総書記の挨拶の後、会場では全国チャンピオンにより武術、曲芸、新体操等、様々な演技が披露され、体操会の層の厚さを見る。

大会が終了すると、一般民家、中日友好病院等を訪問し、ホテルへと向う。日本から持ってきたインスタントみそ汁をすすりながら明日の国慶節を楽しみに床につく。（この夜、北京には戒厳令が敷かれる）

次回へつづく